

## ○ パネリストの紹介(五十音順)



### 伊渕 南々絵 氏 アルトバルーン・経営企画 フラワー&バルーンコーディネーター

山形市出身。県内の高校を卒業後、東京の大学へ進学。社会心理学科で経営者のプロフェッショナリズムやキャリア志向を研究。大学卒業後は山形へ。現在ブライダルやイベント会場の演出を手掛ける「ArtBalloon」にて『フラワー×バルーン』を使用した会場装飾を施し、特別なシーンを華やかに彩る。また、ヤマガタ未来Lab.でのライターや、山形県若者支援コンシェルジュ事業・若者サポーターのほか、山形ストリートピアノプロジェクトを主催するなど、幅広く活動を展開している。



### 小林 孝一 氏 大蔵村観光プロデューサー

山形市出身。昭和52年に近畿日本ツーリストに入社し、旅行全般の仕事に携わる。平成27年に大蔵村からの依頼で観光アドバイザーとして出向し、大蔵村への観光誘致に取り組む。大蔵村の観光振興のため、退職後も、大蔵村にとどまり、観光プロデューサーとして、インバウンドやコロナ禍における肘折温泉の湯治場の風情を活かしたワーケーションの受け入れ環境を整備するなど、湯治文化×ワーケーション「肘折バカンス」を推し進めている。



### 平尾 清 氏 Portfolio worker

鶴岡工業高等専門学校 客員教授 / 青山学院大学 非常勤講師 / 酒田市政  
策参与 / Consortium for Innovative Working Atmosphere: Vice president  
グローバル企業の競争戦略立案から、廃校の復活支援、ワーケーション企画  
&運用まで、業界と場所の境界線を越えたプロジェクトに没入することをミッ  
ションとしている。海テラスゆら磯の風で、庄内浜釣りケーションを先導。



### 堀江 守弘 氏 H&Company株式会社 代表取締役

飯豊町出身。掃除機で有名なダイソンでWebマーケティングに従事するも、山形を元気にしたいという想いが膨らむ。4年前に東京からUターンし、飯豊町でホテルを開業。町が進める飯豊電池バレー構想において、関係者が飯豊町に滞在するようになり、イノベーションの場としても活用が期待されている。南陽市では地域の旬の食材を生かしたレストラン6DININGを経営。また、水没林で有名な白川湖でのカヌー体験を主催するなど、パラレルワーカー的に活動中。体験・食・宿泊を通して地域の魅力を発信することを目指している。